

家庭学習の手引き

しょう
小1

ぶん いじょう
30分以上

国語 (こくご)

- 音読おんどく れんしゅうの練習をして、すらすら読めるようになるよう。
- ひらがな、カタカナ、漢字かんじを練習れんしゅうしていねいに練習しよう。

算数 (さんすう)

- ドリルなどの計算問題けいさんもんだいをくりかえしやってみよう。
- 間違えた問題まちが もんだいを、もう一度いちどやり直なおそう。

しょう
小2

ぶん いじょう
30分以上

国語 (こくご)

- 音読おんどく れんしゅうの練習をして、すらすら読めるようにしよう。
- 筆順ひつじゅんに気をつけながら、漢字かんじの練習れんしゅうを進めよう。
- 分からない言葉わ ことばは、辞書じしょで調べよう。

算数 (さんすう)

- ドリルなどを使って計算問題つか けいさんもんだいをくり返し練習れんしゅうしよう。
- 問題を見直したり、間違えた問題もんだいをもう一度いちどやり直なおしたりしよう。

しょう
小3

ぶん いじょう
45分以上

しょう
小4

ぶん いじょう
45分以上



国語 (こくご)

- めあてをもって音読おんどく れんしゅうの練習をしよう。
- 筆順ひつじゅんに気をつけながら、漢字かんじの練習れんしゅうを進めよう。
- 分からない言葉わ ことばは、辞書じしょで調べ、用例もノートに書こう。

算数 (さんすう)

- ドリルなどの計算練習けいさんれんしゅうに毎日くり返し取り組んでみよう。
- 新しく学習したことを教科書あたら がくしゅうやノートふ かえで振り返ろう。
- 問題を見直したり、間違えた問題もんだいをもう一度いちどやり直なおしたりしよう。

しょう
小5

ぶん いじょう
60分以上

しょう
小6

ぶん いじょう
60分以上



- 宿題しゅくたいを忘れずしよう。
提出率100%ていしゅつりつ もくひゅうを目標に、ていねいにじっくり取り組もう。
- 家庭学習かていがくしゅうの定着ていちゃく
 - 復習ふくしゅうをしっかりしよう。
 - ・家で自主勉強いそ じしゅべんきょうノートかつようを活用して学習内容がくしゅうないようの定着ていちゃくを図ろう。
 - 予習よしゅうをしよう。
 - ・次の日の授業内容つぎ ひ じゅぎょうないようを確認かくにんしておこう。
- あゆみを書き、次の日の授業・予定つぎ ひ じゅぎょう よていの確認かくにんと準備じゅんびをしよう。

ちゅう
中1

ぶん いじょう
90分以上

ちゅう
中2

ぶん いじょう
120分以上

ちゅう
中3

ぶん いじょう
150分以上



- 継続けいぞくは力ちからなり。(宿題しゅくたいの他に、自分でできることを毎日続けることが大切です。)
- やる気スイッチやるきスイッチを自分で入れよう。(自分から進んで取り組むことで、力がつきます。)
- 読書どくしょタイムで心を豊かに。
(本ほんや新聞しんぶんを1日に15分以上読みましょう。)
- (心に残った言葉こころのこやそのときの気持ちこころを日記などに残しておきましょう。)



自主勉強ノートをつかって、家庭学習を習慣化しよう！

学島小学校

学習の心得



① 学習用具を整えよう

筆箱の中 □鉛筆5本(2B) □赤青鉛筆 □消しゴム □ものさし(15cm程度)

□使いやすく、学習に集中できるようなシンプルなもの(無地が好ましい)を準備しよう。

□鉛筆はよくけずり、長さが十分にあるものを使おう。

□消しゴムは、軽い力でよく消えるものを使おう。(おもちゃにならないデザイン)



② 姿勢を整えよう

□正しい姿勢(足はぺたん・背中はぴん・おなかと背中にグーひとつ。机と目玉はパーふたつ。)

□鉛筆の持ち方(鉛筆つまんで持ち上げて、スーッとたおして中指まくら。)

学習のポイント

① 自分に合っためあてを立てて、毎日続けよう

□1日1ページ(内容によっては、見開き2ページ)

□学年に応じた学習時間

□なにをやるか迷ったら、「自主学習メニュー」から選ぶ

② 学びのあとを残そう

□日付 □学習時間 □学習内容(教科書やドリルのページなど) □めあて □ふりかえり

③ 自分に合ったまとめかたを見つけよう

□授業で使ったノートを生かす

□色分け(3色までがよい)をしたり、絵や図を使ったりしてまとめる

□新聞記事や地図、国語辞典、タブレットパソコンなどを活用する

